

「福音における逆説」

2023年03月01日

さて、イエスは目を上げ、弟子たちを見て言われた。「貧しい人々は、幸いである / 神の国はあなたがたのものである。今飢えている人々は、幸いである / あなたがたは満たされる。今泣いている人々は、幸いである / あなたがたは笑うようになる。(ルカ6:20~21)

しかし、富んでいる人々、あなたがたに災いあれ / あなたがたはもう慰めを受けている。今食べ飽きている人々、あなたがたに災いあれ / あなたがたは飢えるようになる。今笑っている人々、あなたがたに災いあれ / あなたがたは悲しみ泣くようになる。(ルカ6:24~25)

マタイ福音書5章~7章では、山に登り腰を下ろして話されたから「山上の説教」と言われている。ルカ福音書6章20節~49節では、山を下りて平野で話されたので「平野の説教」と言われている。主イエスが示された福音が語られているが、それは人間が考え、求めることとは真逆なことである。人は皆、強く豊かで美しいことに価値を認め、これらを追っている。しかし主イエスは、弱く貧しく醜いことの中に、神の祝福があると、地面に叩き付けられたようなガリラヤの民衆の生を是認する逆説の福音を説いている。

「貧しい人々は、幸いである / 神の国はあなたがたのものである。今飢えている人々は、幸いである / あなたがたは満たされる。今泣いている人々は、幸いである / あなたがたは笑うようになる。」貧しい人々、今飢えている人々、今泣いている人々は苦悩のどん底にあり、幸いであるはずがない。しかし、主イエスは彼らが神の国の住人で、満たされ、笑うようになると言われる。「幸い」と訳されているギリシア語は「マカリオイ」で、「幸福な」と訳せるが、「祝福された」とも訳せる。「幸い」より、「祝福された」と訳した方が、主イエスの真意が伝わるのではないか。貧しい人々、今飢えている人々、今泣いている人々は祝福されている。即ち、神の是認の中に置かれている。だから、彼らは神の国に生き、満たされ、笑うようになると言われるのである。

主イエスは病人を癒し、障碍者の傷を治し、悪霊に取りつかれた人から悪霊を取り除いた。彼らは、共同体から捨てられた人であったが、主イエスに「よし」と祝福され、立ち上がり、自分の人生を生きる者とされた。捨てられた者が人間に回復することが福音に与ることである。主イエスは、闇を光に変える逆説の福音を啓示された。

「しかし、富んでいる人々、あなたがたに災いあれ / あなたがたはもう慰めを受けている。今食べ飽きている人々、あなたがたに災いあれ / あなたがたは飢えるようになる。今笑っている人々、あなたがたに災いあれ / あなたがたは悲しみ泣くようになる」と、その逆を述べている。富んでいる人々は他者から搾取して富んだのであり、災いを受けよ。彼らは生を満喫し、慰安された。満腹している人々は、空腹の人を顧みなかったので、災いを受けよ。彼らは飢えるようになる。笑っている人々は悲しむ者に目を留めず、我が世の春を謳歌しているので災いを受けよ。彼らは悲しみ泣くようになる。主イエスは富んでいる者、満腹した者、笑っている者たちは時流に乗り、益を獲て、高慢にしている人々で、彼らは神からのどんでん返しの裁きを受けると言われる。

主イエスの懐妊を喜び感謝した母マリアは「賛歌」で、「思い上がる者を追い散らし / 権力ある者をその座から引き降ろし / 低い者を高く上げ / 飢えた人を良い物で満たし / 富める者を何も持たせず追い払い」と歌った。この言葉が福音の内実である。